



日本共産党 和歌山市議員

森下さち子ニュース

2013年【9月号】 和歌山市鳴神 1145 の6 TEL(474)6556
市議員団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp/> TEL(435)1113

9月議会が始まりました

9月9日から定例市議会が始まりました。9月いっぱいのは会期です。共産党市議団5人全員で質問に立ち、力を合わせてがんばります。

本会議のインターネット中継も始まっていますので市役所に来庁しなくてもネット環境があればご覧いただけます。リアルタイムでなくても、数日後に録画がアップされますので、ぜひご覧ください。

議会終了後は公営企業(水道)と一般会計・特別会計の決算委員会も行なわれる予定です。

暑い暑いと言っていた夏も9月に入ったとたん、一気に秋めいてきました。晴れば、昼間はまだ汗をかくほどの暑さですが、朝・夕は涼しくなり過ごしやすくなってきています。「暑さ寒さも彼岸まで」とは、よく言ったものだと思います。

しかし、台風などの影響や気温そのものが高くなってきているせいか、竜巻が頻繁に発生し、豪雨による浸水も後を絶ちません。特に季節の変わり目は天候も荒れ模様になることが多いので、警戒が必要です。

体も急な気温の変化に戸惑い変調を来すこともあります。どうかご自愛ください。



《無料法律相談》

ゆら・山崎法律事務所の弁護士が相談に乗ります。

9月24日(火) 18:00~20:00

10月10日(木) 13:00~

10月23日(水) 18:00~20:00

場所はいずれも花山の森下事務所です。

事前の予約が必要です。

TEL 073-435-1113 (共産党市議団 森下まで)。

8月から強行生活保護基準の引き下げ

国はこの5月17日生活保護法の一部を改正する法律案を閣議決定し先の国会で審議していましたが、廃案になりました。しかし、保護基準の引き下げは8月から強行されています。

この引き下げは保護を受給している人々だけの問題にとどまりません。非課税世帯の住民税の限度額が下がります。また、介護保険料、高額療養費の限度額、保育料、最低賃金にも影響があります。決して「他人事」ではありません。そういう点でも生活保護制度は生活保障全般にわたる土台だと言えます。

今年生活保護訴訟を闘った朝日茂さんの生誕100年の年でもあります。憲法25条に謳われている「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」とは何かを根本から問いかけた裁判でしたが、この

精神を再び問うことになりそうです。朝日茂さんが身を挺して世に問いかけた、憲法25条にふさわしい社会保障制度とそれを暮らしに活かすために力を合わせましょう。



日本国憲法

第3章 国民の権利及び義務

第25条

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

《第3回和歌山住民要求研究集会》

10月12日(土) 和歌山県民文化会館

(参加費1000円)

全体集会：10：00～12：20

記念講演

「今日の地方自治体の役割を考える」

岡田知弘(京都大学大学院教授)

分科会：13：10～16：30

- ①子育て・教育
- ②医療・福祉・介護
- ③産業・経済・まちづくり
- ④防災
- ⑤環境・住民運動

終了集会：16：40～17：00

《和歌山合同法律事務所50周年記念》

劇団 希望舞台「釈迦内枢唄」

11月13日(水) 県民文化会館小ホール

昼の部 14：00開演

夜の部 19：00開演

*入場料3000円

*チケットあります 森下佐知子まで



こんにちは！藤井健太郎です

(ふじいけんたろう)



日照り続きの空模様から一変し、久しぶりの雨空となりました。あちこちで集中豪雨による被害が報じられていますが、和歌山市も雨には弱く、少し多めに降れば浸水被害が広がります。適量の雨なら歓迎とは、人間の得手勝手でしょうか。

さて地上では、虫たちの音色の高まりが季節のうつろいを告げています。夏休みを和歌山で過ごした孫たちも大阪へと引き上げて行きました。

さあ、腰を落ち着けて仕事だ、と線略を練り直しているところです。



【生活保護不服審査請求】

生活保護基準引き下げに対する「不服審査請求」が始まっています。市内では、あざみの会（電話424-6300）受付窓口となり、弁護士を代理人として、すすめています。市役所の生活支援課または県庁福祉保健総務課に直接提出するか郵便で送ります。

生活保護基準の引き下げは、保護家庭だけの問題ではなく、最低賃金や非課税基準の引き下げにつながる国民全体の問題でもあり、景気にとってもマイナスの作用となります。みんなで考えてみたいですね。

前県会議員 ふじい健太郎



68回目を迎えた「日中不再戦の集い」に今年も参加。戦争を身をもって体験した94歳になられる近藤さんと記念碑の前で。(8/16ブログより)

<http://sigidan.exblog.jp/i4/>

したがらだどと会見内容を新聞で読みました。我が家は全員ジブリファンです。それぞれ好きな作品は異なりますが、貴かれていますものは「自然と人間への賛歌」ではないかというのが共通した思いです。監督の違う面での活躍をこれからも楽しみにしています。



先月(8月)号のニュースに宮崎駿監督の「風立ちぬ」と監督の憲法への思いを書いたばかりでしたが、9月6日、